

<b>卒業研究</b>		<b>演習</b>	<b>教授 大澤 秀一</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>11130401</b>	

### 1. テーマ

企業や業界の「ビジネス」を深く掘り下げる卒業研究を行います。個別企業のビジネスモデル分析や経営分析の手法を学び、経営や事業、金融等に関する幅広い知識と実践的な研究力を身につけます。最終成果物として卒業研究（卒業論文）に取り組み、ビジネスに関する論理的な思考力と文章力を磨きます。

### 2. ゼミのねらい・概要

ゼミでは身近な企業や業界を題材に、実際の経営状態やビジネスモデルを分析します。例えば、1社の経営戦略や、その企業が属する業界の競争の仕組みを調べる研究が中心です。経済の流れ、経営のコツ、事業の作り方、儲けの仕組み、金融の動きを幅広く学び、ビジネスに対する深い理解を目指します。

ゼミの流れは、まず興味・関心のある企業や業界を学生自身が決定して資料を集め、ゼミ生全員で議論します。指導教員のアドバイスを受けながら、データや事例を基に分析を進めます。最終目標は卒業研究（卒業論文）の完成です。論文では、自分の研究成果をまとめ、ビジネスモデルや企業の競争力を論理的に説明する方法と文章を書く力を養います。

この過程で、経済ニュースや会社情報を実務に活かせる知識が自然と身につきます。就職活動や将来の仕事に直結する実践的な視点が得られ、経済・経営のプロフェッショナルな思考を育てます。

### 3. ゼミ計画

ゼミは全員参加の演習形式で行い、概ね以下の内容に沿って進めます。ゼミメンバーの問題意識や関心等を見極めながら、必要に応じて少人数のより丁寧な演習も行います。

<p>〈前期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ゼミの概要</li> <li>2. テーマとゼミのねらいの詳細</li> <li>3. 分析対象企業・業界の決定</li> <li>4. 分析手法その1：ビジネスモデル分析</li> <li>5. 分析手法その2：経営成績分析</li> <li>6. 分析手法その3：財務状態分析</li> <li>7. 分析手法その4：企業価値分析</li> <li>8. 分析手法その5：株主価値分析</li> <li>9. 学生による口頭発表1（学生2～4名）</li> <li>10. 学生による口頭発表2（学生2～4名）</li> <li>11. 学生による口頭発表3（学生2～4名）</li> <li>12. 学生による口頭発表4（学生2～4名）</li> <li>13. 学生による口頭発表5（学生2～4名）</li> <li>14. 学生による口頭発表6（学生2～4名）</li> <li>15. 学生による口頭発表7（学生2～4名）</li> </ol>	<p>〈後期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 卒業研究（卒業論文）の書き方ガイダンス</li> <li>2. ビジネスモデル分析の実践例</li> <li>3. 経営成績&amp;財務状態分析の実践例</li> <li>4. 企業価値&amp;株主価値分析の実践例</li> <li>5. 学生による最終発表1（学生2～4名）</li> <li>6. 学生による最終発表2（学生2～4名）</li> <li>7. 学生による最終発表3（学生2～4名）</li> <li>8. 学生による最終発表4（学生2～4名）</li> <li>9. 学生による最終発表5（学生2～4名）</li> <li>10. 学生による最終発表6（学生2～4名）</li> <li>11. 学生による最終発表7（学生2～4名）</li> <li>12. 卒業研究（卒業論文）の個別指導1</li> <li>13. 卒業研究（卒業論文）の個別指導2</li> <li>14. 卒業研究（卒業論文）の個別指導3</li> <li>15. 卒業研究の総括</li> </ol>
--	--

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各自および他の学生が取り組むテーマに関する知識習得と調査分析には週2時間以上が必要です。さらに各テーマの口頭発表および最終発表の準備に2時間以上が必要となります。発表後に必要に応じて行われる担当教員による個別指導には1時間程度の時間を要します

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭発表および最終発表の際に、不足している点や今後取組むべき点などを個別に講評することによりフィードバックをします。

## **6. ゼミにおける学修の到達目標**

卒業研究（卒業論文）の完成を通じて、自分の意見や考え方を経済学的な視点から論理的にまとめて表現する能力の獲得を目標とします。

## **7. 成績評価の方法・基準**

卒業研究（卒業論文）の内容（50%）及びゼミに対する取組み姿勢（50%）の合計100点で評価します。

## **8. テキスト・参考文献**

適宜、必要なテキスト・参考文献を紹介したり、個別に指示・配布したりします。

## **9. 受講上の留意事項**

企業や業界に関する情報の収集・分析に興味を持ち、ゼミに積極的に参加する姿勢が求められます。

## **10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当する。本ゼミは、金融機関の実務経験を活かして指導する。

## **11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。